

現千葉県議会議員



岡村やすあき



安全2 防犯と地域

暮らしやすく、安全で効率の高い、
生活基盤の整備と充実に努めます。

安全安心な社会づくり

内閣府の世論調査によれば、ここ十年で日本の治安が悪くなったと思う人は、九割近くに達し、自分や身近な人が犯罪にあうかもしれないという、不安を感じている人も八割を越えました。

刑法犯罪は、この十年間で、一〇〇万件以上も増え、検挙率は、戦後最悪の二〇%近くに落ち込みました。

千葉県において発生した刑法犯罪は、平成十八年内で、十一万五千七百件になりました。平成十七年内は、十三万三千七十七件でしたから、約一万五千件も減少したことになります。

四街道市でも、刑法犯認知件数は、前年の二〇〇五件から、一八九九件（平成十八年）と減少しました。

全国的にみても、刑法犯罪は、昨年度をピークにして、やや減少してきた傾向がみられます。

この減少傾向の原因としては、警察の警備力の強化、市民の安全を希求する意識や地域の防犯意識の高揚などが考えられます。



しかし、犯罪が多発している現状をみると、また、いっか増加するという可能性も考えられます。

犯罪が多発する理由のひとつとして、独居老人や高齢者だけの世帯、女性の一人暮らしなどの核家族化が進み、昼間人口の減少などの都市型社会の広がりで、地域の連帯感が失われ、近隣の無関心さが広まり、犯罪者に狙われやすい環境が広がったことが挙げられます。

一方、バブル崩壊後の、悪化する経済状況のなかで、安定した職業に就けない人や家族崩壊等によって生活に困る人が増え、生活に追い詰められて犯罪に走るといった傾向もみられるようになりました。

また、子どもを対象にした性犯罪も多くみられるようになりました。

私は、地域の安全確保のための施策として、次の二点の実現を図っていきます。

一、警察官の増員によって、警備力を強化し、犯罪を未然に防ぐように努めます。

特に、外勤の地域の治安に当たる警察官を増強するように努めます。また、交番には、警察官が常駐し、常に市民に対応することのできる体制をつくるように努めます。

四街道市においては、大日地区に交番を設置するように努めます。

二、県生活条例に基づく「地域防犯情報センター」の設置を進め、地域の防犯拠点として、市民と警察、地元小中学校との緊密な連携を図ります。また、地域全体で子どもたちの心を育てる活動を推進します。

安全・生活基盤整備に関する重点目標

- ・ 防災対策の強化、災害救助対策の強化などにより災害から市民を守るための施策を推進します。
- ・ 地域の安全確保のため、地元四街道市大日地区への交番設置に取り組みます。
- ・ JR総武線の快速増発、バスの利便性向上等、通勤通学対策に取り組みます。
- ・ 国道51号線の早期拡幅や県道の着実な整備で、渋滞解消と道路交通の安全性と利便性を高めます。

